

# 【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2022年 10～12月期の景況 / 2023年 1～3月期の見通し

**宇部市内における中小企業の業況は、コスト増の重荷が続いている。**

## 今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2022年10～12月期の実績と2023年1～3月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より1.9%の回復となった。業種別では、卸売業は▲9.5%から▲23.8%へと悪化、建設業は▲25.9%から▲17.4%へ、製造業は▲29.4%から▲27.8%へ、小売業は▲12.5%から▲9.5%へ、サービス業は▲4.2%から4.5%へと回復した。

来期の新規設備投資については、今期よりも6.9%減少する見込みである。

経営上の問題点については、前期に続き多くの業種で「材料価格の上昇」や「仕入単価の上昇」が1位となった。さらには、多くの業種で「従業員の確保難」や「需要の停滞」に関する問題が上位を占めている。

## DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に関する複数の指数を合成して算出する。

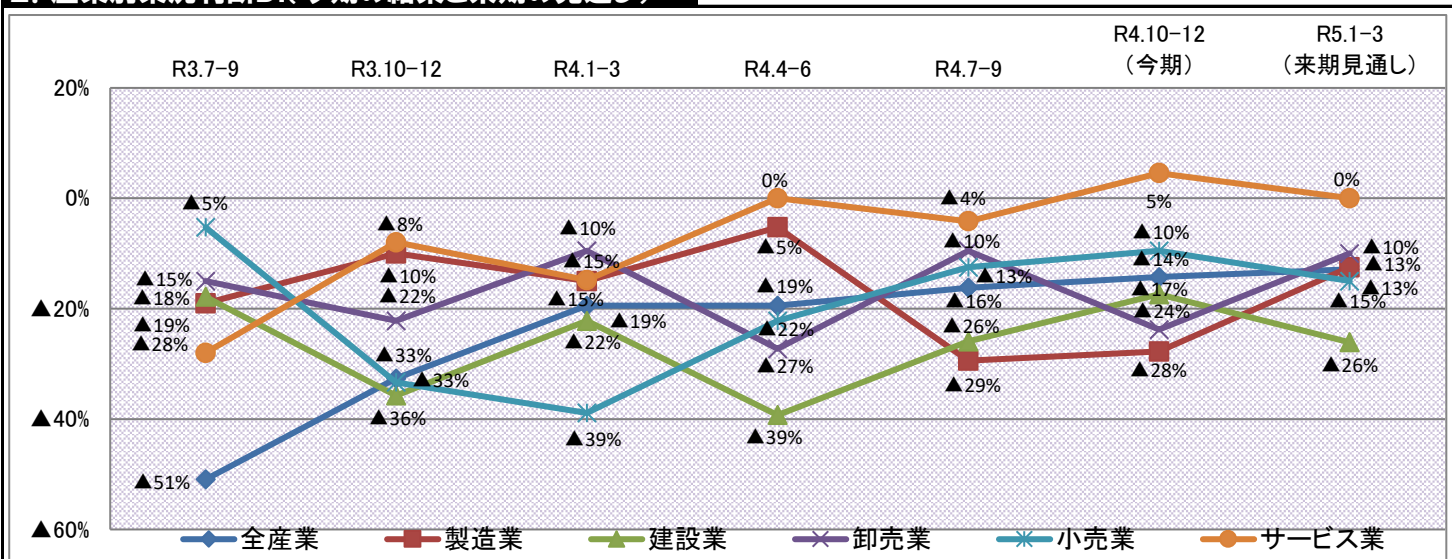
## DATA

- 調査期間: 令和4年12月13日～12月22日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業134社
- 有効回答企業数: 108社(80.6%)

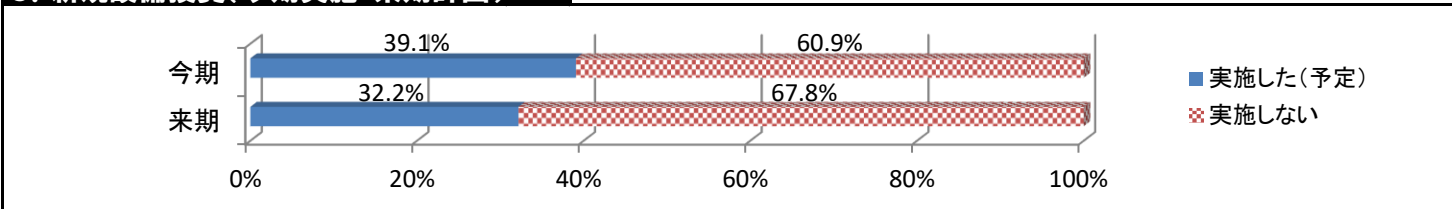
## 1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲14.3%	1.9%	▲4.7%	▲5.7%	▲5.7%	▲2.9%	▲14.0%	9.6%	0.0%	2.9%
建設業	▲17.4%	8.5%	▲26.1%	▲3.9%	▲4.3%	▲4.3%	▲21.7%	15.3%	4.3%	4.3%
製造業	▲27.8%	1.6%	▲10.5%	▲38.3%	▲22.2%	1.31%	▲36.8%	4.3%	▲5.3%	0.6%
卸売業	▲23.8%	▲14.3%	0.0%	▲20.0%	0.0%	0.0%	▲9.5%	4.8%	4.8%	9.5%
小売業	▲9.5%	3.0%	5.0%	16.8%	▲5.0%	▲10.9%	▲4.8%	1.1%	▲5.0%	1.3%
サービス業	4.5%	8.7%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%

## 2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



## 3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



## 4. 経営上の問題点

	製造業		建設業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	原材料価格の上昇	25.0%	従業員の確保難	24.2%	仕入単価の上昇	22.8%	仕入単価の上昇	25.5%	材料等仕入単価の上昇	17.7%
2位	生産設備の不足・老朽化	10.7%	材料価格の上昇	21.2%	従業員の確保難	19.3%	従業員の確保難	14.5%	従業員の確保難	14.5%
3位	従業員の確保難	8.9%	官公需要の停滞	15.2%	需要の停滞	12.3%	人件費の増加	12.7%	利用者ニーズの変化への対応	9.7%
4位	製品ニーズの変化への対応	7.1%	民間需要の停滞	10.6%	人件費以外の費用の増加	8.8%	需要の停滞	10.9%	人件費の増加	9.7%